



いのち輝く未来を拓く 2025年日本国際博覧会 に向けて  
さらにその先の 未来 に向けてー



第1回

# 日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

2023.9.1 FRI ~ 10.15 SUN

文化庁が移転した  
文化首都・京都へ



主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 特別協力 | 世界文化遺産 京都 醍醐寺

後援 | 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社) 2025年日本国際博覧会協会  
経済産業省 近畿経済産業局 / (一社) 関西経済同友会 / 大阪商工会議所 / (公社) 関西経済連合会 (予定)

日本国際芸術祭は、文化庁が移転し、歴史・芸術・文化の聖地京都で開かれる、新しい国際的な芸術祭です。  
アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創がクリエイティブをまちなかに創り出していきます。  
2025年日本国際博覧会に向けて、さらにその先の未来に向けて、日本から世界に発進していきましょう。

アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創が  
クリエイティブをまちなかに創り出す

日本文化・アートを万博とつなぐ

万博を文化首都・京都とつなぐ

会場外・京都市内とつながる芸術祭

2025年日本国際博覧会プロデューサー企画



石黒浩氏



中島さち子氏



落合陽一氏



宮田裕章氏

醍醐寺を会場とした展示・イベント

メイン会場



世界文化遺産 京都 醍醐寺

技術 × 文化  
企業出展

万博公式参加国  
招待

国際アート  
フェア

自然 × アート  
展示

醍醐寺所蔵  
寺宝・文化財  
特別公開

食文化

京都の先端技術

国内外アーティスト  
・クリエイター

自治体

ギャラリー

大学

企業  
ショールーム

企業

伝統文化

美術館

公式参加国

オープン  
ファクトリー

文化庁

博物館  
資料館

工房

伝統工芸



世界文化遺産京都醍醐寺メイン会場に据え、京都市内・京都市内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場（オープンファクトリー）、寺社仏閣等を繋ぎ、文化庁が移転した文化首都・京都で約1か月半に渡り開催致します。

日本国際芸術祭  
専用ページ

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

事務局 株式会社 健康都市デザイン研究所

大阪市北区梅田3-4-5毎日新聞ビル8階 TEL:06-6136-8803

E-mail: info@yumeshimakikou.com

(機構HP) <https://yumeshimakikou.org/> (芸術祭HP) <https://yumeshimakikou.org/jiaf2023/>



世界文化遺産 京都 醍醐寺、京都府、京都市を舞台に  
アート、デザイン、サイエンス、テクノロジー、経済の共創によりつながる”万博”と文化首都”京都”



万博を  
文化首都・京都と  
つなぐ

提供:  
2025年日本国際博覧会協会



2025年日本国際博覧会や  
プロデューサーとの連携

京都府・京都市および文化庁の  
アート・文化政策との連携

万博を契機とした産学公の  
多様なプレイヤーとの連携

万博の公式参加国との連携

京都の企業・団体・大学等  
との連携



出典:  
醍醐寺/唐門(国宝)

日本文化・アートを  
万博とつなぐ



## メイン会場

7万5千点を超える国宝を所蔵する

## 世界文化遺産 京都 醍醐寺



醍醐寺は、874年に弘法大師空海の孫弟子、理源大師聖宝によって開創されました。上醍醐と下醍醐の約200万坪の広大な敷地を有し、京都府内で最古の木造建築の五重塔など国宝75,537点をはじめ仏像、文書、絵画をはじめとする古代、中世以来の貴重な寺宝は約15万点にも及びます。

### 三宝院

本坊的な存在の三宝院は、建物の大半が国の重要文化財に指定されており、中でも庭園全体を見渡せる表書院は、桃山時代の寝殿造様式を伝える建造物として、国宝に指定されています。三宝院庭園は、慶長3年(1598)に豊臣秀吉公が「醍醐の花見」に際して自ら基本設計をした庭であり、今も桃山時代の華やかな雰囲気を与えています。



**日** 本国際芸術祭とは、2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で開催致します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、2023年に第1回を開催、2024年、2025年(京都と万博会場)、2026年、2027年と毎年継続していく予定です。2023年の開催期間は9/1～10/15、メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場(オープンファクトリー)、寺社仏閣等を繋ぎます。京都を中心に展開し、そこに大阪や全国が繋がっていく形を創り上げます。本芸術祭は(一社)夢洲新産業・都市創造機構が本部になり継続させてまいります。

日本の伝統的な遊びの一つである折り紙をモチーフに、日本国際芸術祭の目指すものを、伝統と文化、高い技術で折り込まれた芸術でもある折り紙の持つ可能性と重ね合わせ、伝統色である和色で表現しています。



日本国際芸術祭専用ページ <https://yumeshimakikou.org/jiaf2023/>